

清流のほとり

令和8年6月1日(月)発行 園長 露木 美江 寄 松田



ツバメさん げんきでね

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

GW明けのことです。幼稚園正面玄関の壁にあったツバメの巣に、小さな雛の姿を見つけた職員は「かわいい～」と大歓声をあげていました。園バスで降りてきた子どもたちも思わず見に来ます。「見えないね」と言っていたら、担任が自撮り棒を持ってきて、その様子を撮影して見せてくれました。「わあかわいい」「ぴいぴいいないてるね」「5にん？いるよ」などみな興味津々です。「あっ、おかあさんがおかいものからかえってきた」「ウンチをしってる」ツバメのお母さんが来るたびに子どもたちは大喜びです。



2週間後、小さなツバメが幼稚園の中に飛んできました。「わあ～ツバメだ」「もしかして・・・」みんなで巣の所に行ってみると、ツバメの姿はありません。「とんでっちゃったんだね」「またおうちにかえってきたんだ」

大人の「すごい！」「かわいいね」と感動する姿を見て、子どもたちも関心が高まります。ツバメの成長を見守りながら、神秘的な生命の誕生や親子の温かい絆などを間近で感じることができました。松田幼稚園がやさしい空気に包まれました。

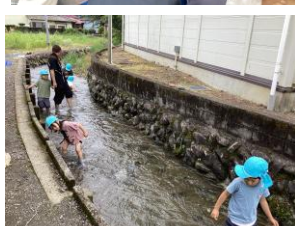


槐先生をお招きして ～第1回家庭教育学級～

第1回家庭教育学級では、年長児親子を対象に、厚木郷土博物館学芸員の槐真史先生が来園され、興味深いお話を伺うことができました。雨模様のためホールでの活動でしたが、夜の水たまりに生き物が現れる映像や、持ってきていただいた珍しいカエルやバッタなどを実際に見せてもらいながら、貴重な体験ができました。

最後に「先生は何歳ですか？」という珍質問に、思わず会場から温かい笑い声があがりました。先生のお人柄からか、終始和やかな雰囲気の中で行われた家庭教育学級でした。「捕まえた生き物は元の環境が1番だからしばらく観察したら戻してあげよう」という、先生の言葉はとても重いものがありました。

給食後、早速年長児は「先生みたいな大きなカエルとバッタを捕まいたい」と張り切って外に走って行きました。捕まえた後どうするか、子どもたちとていねいに考えていきたいです。



学校(幼稚園)評議員会

5月25日に、今年度第一回目の評議員会が開催されました。幼稚園の運営について提案しご意見等いただきました。いただいた主なご意見は、以下の通りです。

- ・物価高、中東情勢の緊迫化の中で、家庭や幼稚園への影響はないか心配である。
- ・ダイナミックに元気よく遊んでいた。砂場遊びで裸足になる感覚は大事である。
- ・さまざまな遊びの中で言葉の育ちが見られた。
- ・子ども同士をつなぐ教師の言葉かけやかかわり方、環境構成が素晴らしい。
- ・異年齢交流が自然に見られていた。今後も続いてほしい。
- ・保護者も幼稚園の教育を理解していて、双方で連携し子どもたちを育てている。
- ・子どもたちが人なつこく、話しかけるとみんな寄ってきた。
- ・遊具のさび等が見られる。→今年度、遊具の修繕が予算化されている。

貴重なご意見をありがとうございました。今後の園運営に活かしていきます。